

# R4事務事業評価資料

## PDCAサイクルシート集



## 【評価区分】

### 【段階評価】 取組の振り返り・評価

#### 概ね達成している

A: 目標達成

➤ 計画の目的を達成

B: 概ね目標達成

➤ 7割以上、計画の目的達成

#### 一部達成している

C: 一部目標達成

➤ 5割以上、計画の目的達成

#### できていない

D: 一部目標着手

➤ 取組に着手

(3割以下)

E: 未着手

【達成割合の算出方法(原則)】 取組実施(増加)の有無を50%とし、件数の多寡や工夫・改善の状況等により加点

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(広聴広報機能の充実) 第17条 議会は、市民の意向の把握及び多様な広報手段を用いた情報提供に努めるものとする。
----	---

計画項目	【取組No.1】 市民アンケート等の実施
------	----------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・市民アンケート等により、市民の意思を把握し、市政に反映させます。
	成果指標	①市民の声を議会に届ける仕組みが整備されていること。
	取組と実績	

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①市民アンケートの設問、活用方法等の検討 ②市民アンケートの実施 ③傍聴者アンケートの見直し
	結果(達成度)	①実施 ②実施 ③未実施
	【成果指標の評価】	おおむね達成している。

段階評価	B
------	---

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・市政に関すること、議会に関する情報の情報提供に努める。 ・アンケートの目的を見直し明確にすることも含めて検討する。 ・政策立案力の向上を図り、アウトプットを進める ・幅広く市民の意見を把握する。
	今後の方向性	・アンケートの目的を達成するための情報収集に努める。 ・市政に関すること・議会に関する情報の情報提供に努める。 ・SNS等を通して市民に分かりやすく伝える ・市民アンケートの調査方法の検討

### 【3】CHECK(検証)

課題、問題点	事業効果の検証	・アンケートや議会モニター制度を通し市民の意識調査ができた。 ・政策立案への期待度が高いことが分かった
	課題、問題点	・未だ情報の絶対数が少ない。 ・市民へのアンケートの設問が難しいとの評価もある。 ・アンケートの対象が、議員に近い市民のアンケートに偏りがある。 ・アンケートの目的と設問の内容が合致していない。市民の声を市政に反映させる設問とすることは難しい。

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(市民と議会との関係)
	第7条 (略) 4 議会は、市民が傍聴しやすい環境の整備に努めるものとする。

計画項目	【取組No.2】 会派代表質問・市政一般質問のあり方の検討
------	-------------------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)
	・傍聴者をはじめとした市民にとって分かりやすい一般質問等に努めます。
	成果指標
	①市民にとって分かりやすい一般質問等を通じた市政情報の提供

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	段階評価
	①公平な一般質問等のあり方の検討 ②重複質問の解消に向けた先進事例の検討	
	結果(達成度)	D
	①未実施 ②未実施	
	【成果指標の評価】 研修会を通し着手はしているが、結論を得ていない。	

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点
	・引続き検討する
	今後の方向性
	・引続き検討する

### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証
	①②検討したが結論に至っていない。
	課題、問題点
	・議運で取り上げたが更なる議論を要する

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(市民と議会との関係)
	第7条 議会は、全ての会議を原則公開とする。 3 議会は、参考人制度及び公聴会制度を活用し、市民の専門的知見又は政策的意見を討議に反映させるよう努めるものとする。

計画項目	【取組No.3】 参考人、公聴会の活用に向けた検討
------	---------------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・制度を活用し、市民の専門的知見又は政策的意見を討議に反映させるよう努めます。
	成果指標	①議会の議論における市民意見の反映
	取組と実績	

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①請願・陳情の提出者の参考人招致 ②参考人制度及び公聴会制度の活用に向けた検討
	結果(達成度)	①未実施(該当なし) ②未実施
	段階評価	D

【成果指標の評価】  
①に関しては該当なし、②に関しては未実施

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・①に関しては、請願陳情が出しやすい環境を作る。 ・②に関しては、議会が政策立案する活動を行なう。
	今後の方向性	・参考人招致については必要に応じて行う。 ・公聴会制度を活用できる環境を整備する。
	課題、問題点	・公聴会制度に至る、活動に至らなかった。 ・公聴会制度の活用に向けての取組ができなかった。

### 【3】CHECK(検証)

課題、問題点	事業効果の検証	・行われなかった。
	今後の方向性	・参考人招致については必要に応じて行う。 ・公聴会制度を活用できる環境を整備する。
	改善点	・①に関しては、請願陳情が出しやすい環境を作る。 ・②に関しては、議会が政策立案する活動を行なう。

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(議員の活動原則)
	第4条 議員は、次に掲げる原則に基づき活動を行わなければならない。 (4) 議員は、日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。

計画項目	【取組No.4】 議員研修の実施
------	------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)
	・議員研修を通じて議員の資質向上に努めます。
	成果指標
	①議員の資質向上により議会審議の質が向上され、真に市民のためになる市政運営がなされること。

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	段階評価
	①議員研修計画の策定 ②外部研修・内部研修の実施(参考回数5回)	
	結果(達成度)	A
	①実施 ②実施	
	【成果指標の評価】 達成している。	

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点
	・研修を受けたのち、内容の振り返りも含めて議員間での話し合いを行うべきである。 ・出来るだけ早い段階で計画を立てる。
	今後の方向性
	・研修の重要性を周知し、議員全委員が出席し研修内容を議会に活かす。 ・研修を継続し、学んだことが議案審査や事務調査活動に活かせるよう議会力向上を目指す

### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証
	・議員の研修意欲を掻き立てることができた。また、様々な視点の研修に取り組んだので、各自の視野も広がり、資質向上に繋がったと思われる。 ・日々の議員活動に効果が発揮されていると思われる。 ・外部より講師を呼びより専門的な研修を実施することができた。
	課題、問題点
	・研修内容を活かしている議員もいるが、十分に活かされてない議員もいる。 ・研修に、不参加の議員もいる。 ・早めに計画を立てる。

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(条例の見直し)
	第22条 議会は、必要に応じて、この条例の目的が達成されているかどうかを検証し、必要と認められる場合は、適切な措置を講じるものとする。

計画項目	【取組No.5】 議会基本条例の見直し
------	---------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)
	・議会基本条例の目的達成状況を検証し、必要に応じて見直しを行います。
	成果指標
	①議会基本条例の目的に関し、より一層実現されること。

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	段階評価
	①法の趣旨や今までの運用結果を踏まえた第11条の検証・見直し ②事務事業評価等を踏まえた条例の検証・見直し	
	結果(達成度)	
	①実施 ②実施	A
	【成果指標の評価】 達成している。	

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点
	・議会基本条例を議員全員が理解する取り組みを行う。 ・逐条解説を作ることで、議員全員で理解できる条例とする。
	今後の方向性
	・必要に応じて見直しを行う。

### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証
	・11条の取り扱いを見直したことで、条例の報告・議決の判断が明確になった。 ・条例の見直しを行うことで、適切な措置ができています。
	課題、問題点
	・議員全員が、議会基本条例を理解できているかが課題である。

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(議会の活動原則)
	第3条 議会は、次に掲げる原則に基づき活動を行わなければならない。 (1) 情報の公開を図り、議会活動を説明する責任を果たし、開かれた議会運営を行うこと。

計画項目	【取組No.6】 ミッションロードマップの作成検討・実施
------	------------------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・議会活動を見える化し、市民への説明責任を果たします。
	成果指標	①議会活動の取組状況が市民に分かりやすく提供されている。
	取組と実績	

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①先進事例の研究 ②ミッションロードマップの作成に向けた検討	段階評価 <b>A</b>
	結果(達成度)	①実施 ②実施	
	【成果指標の評価】	達成している。	

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・那須塩原市議会に合わせたミッションロードマップの研究検討
	今後の方向性	・市民への議会の取り組み状況をより分かりやすく伝えることが必要。 ・今後も継続する。

### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証	・検討中
	課題、問題点	・他市の事例を更に研究する必要がある



# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(議員定数) 第20条 議員定数の改正に当たっては、行財政改革の視点だけではなく、市政の現状と課題、将来の予測と展望を考慮するものとする。
----	--

計画項目	【取組No.7】 議員定数のあり方に関する検討
------	-------------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・議員定数について、行財政改革の視点だけでなく、将来を展望しつつ、検討を行います。
	成果指標	①市民意見を反映するのに過不足のない議員数を確保していること。

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①議員定数の調査研究及びあり方の検討	段階評価  A
	結果(達成度)	①実施	

【成果指標の評価】  
実施した。

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・引き続き検討する。
	今後の方向性	・引き続き検討する。

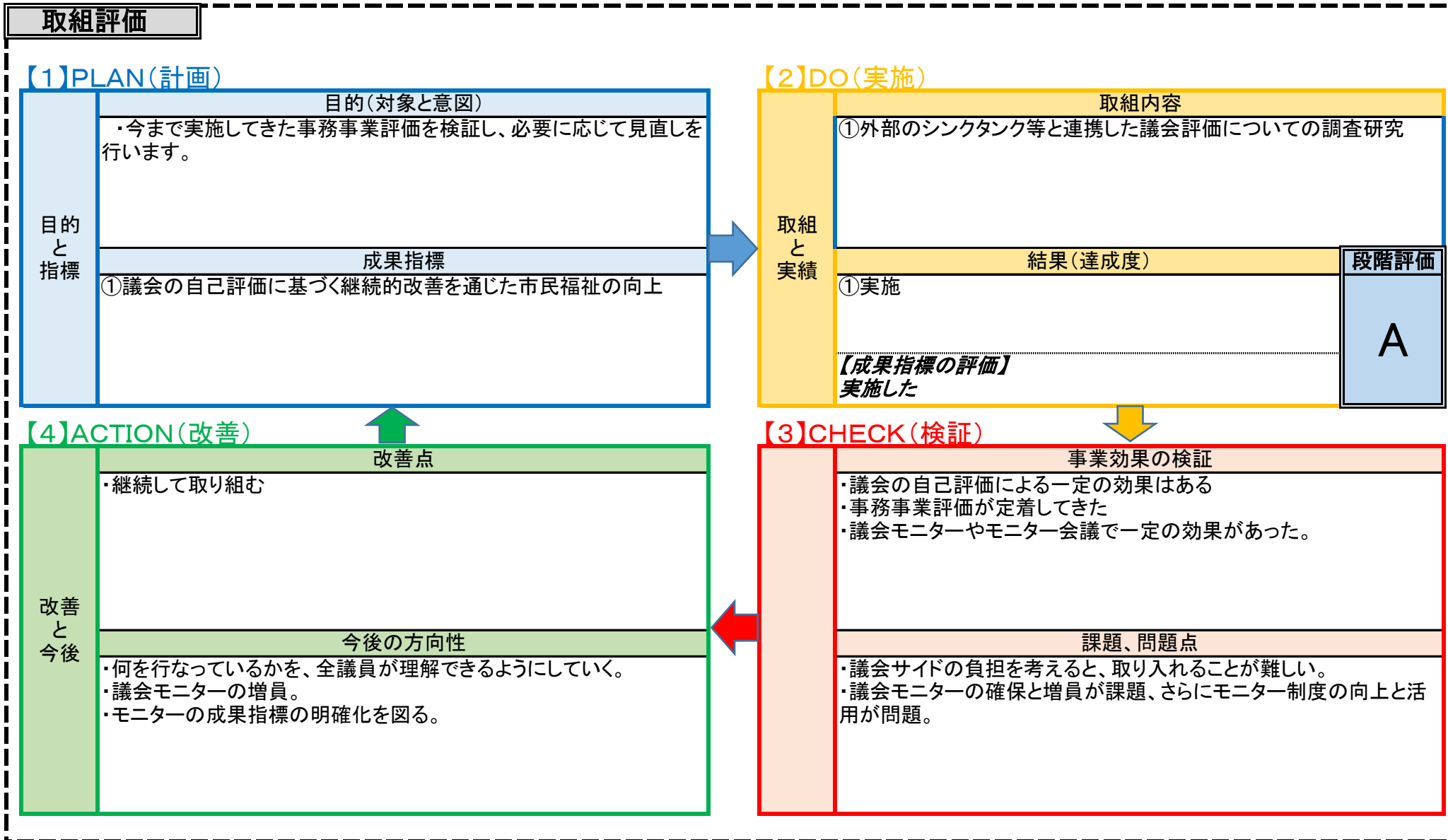
### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証	・検討中
	課題、問題点	・引き続き検討を進める必要がある。

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(議会制度及び運営の見直し) 第21条 議会は、制度や運営の方法について、継続的な見直しを行うものとする。
----	--

計画項目	【取組No.8】 事務事業評価の見直し
------	---------------------



# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(広聴広報機能の充実) 第17条 議会は、市民の意向の把握及び多様な広報手段を用いた情報提供に努めるものとする。
----	---

計画項目	【取組No.9】 議会ホームページの充実化
------	-----------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・議会に関する分かりやすい情報提供に努めます。
	成果指標	①議会に関する情報が分かりやすく市民に提供されている。

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①議会独自のホームページ作成を含め、議会ホームページの在り方の検討 ②分かりやすい議会ホームページに向けたコンテンツの見直し
	結果(達成度)	①実施 ②実施
	【成果指標の評価】	実施した

段階評価	A
------	---

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・WEB上で市議会情報を取得しやすいよう改善する ・継続して、ホームページ「解説」にむ向け取り組む。 ・ホームページ上でどの情報が重要でどのように見せるかも検討を進める。 ・ホームページの改善までの間SNSなどの活用をより活性化する。
	今後の方向性	・市民に分かりやすい情報提供に努める。 ・市議会ホームページの充実を図る

### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証	・実施している
	課題、問題点	・現在の市議会トップページが分かりにくい ・議員意見の反映 ・財政的な面で課題がある。 ・議会独自の情報発信ができていないので、早期の開設が必要。

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(広聴広報機能の充実) 第17条 議会は、市民の意向の把握及び多様な広報手段を用いた情報提供に努めるものとする。
----	---

計画項目	【取組No.10】 模擬議会の開催
------	-------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・模擬議会の開催により、市政の仕組みや議会活動等への理解促進に努めます。
	成果指標	①市民意見・要望の把握及び住民参加による議会への理解促進
	取組と実績	

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①模擬議会の開催	段階評価  A
	結果(達成度)	①実施	
	【成果指標の評価】	達成している。	

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	
	今後の方向性	・継続して実施。
	課題、問題点	・より多くの市民に体験してもらう。

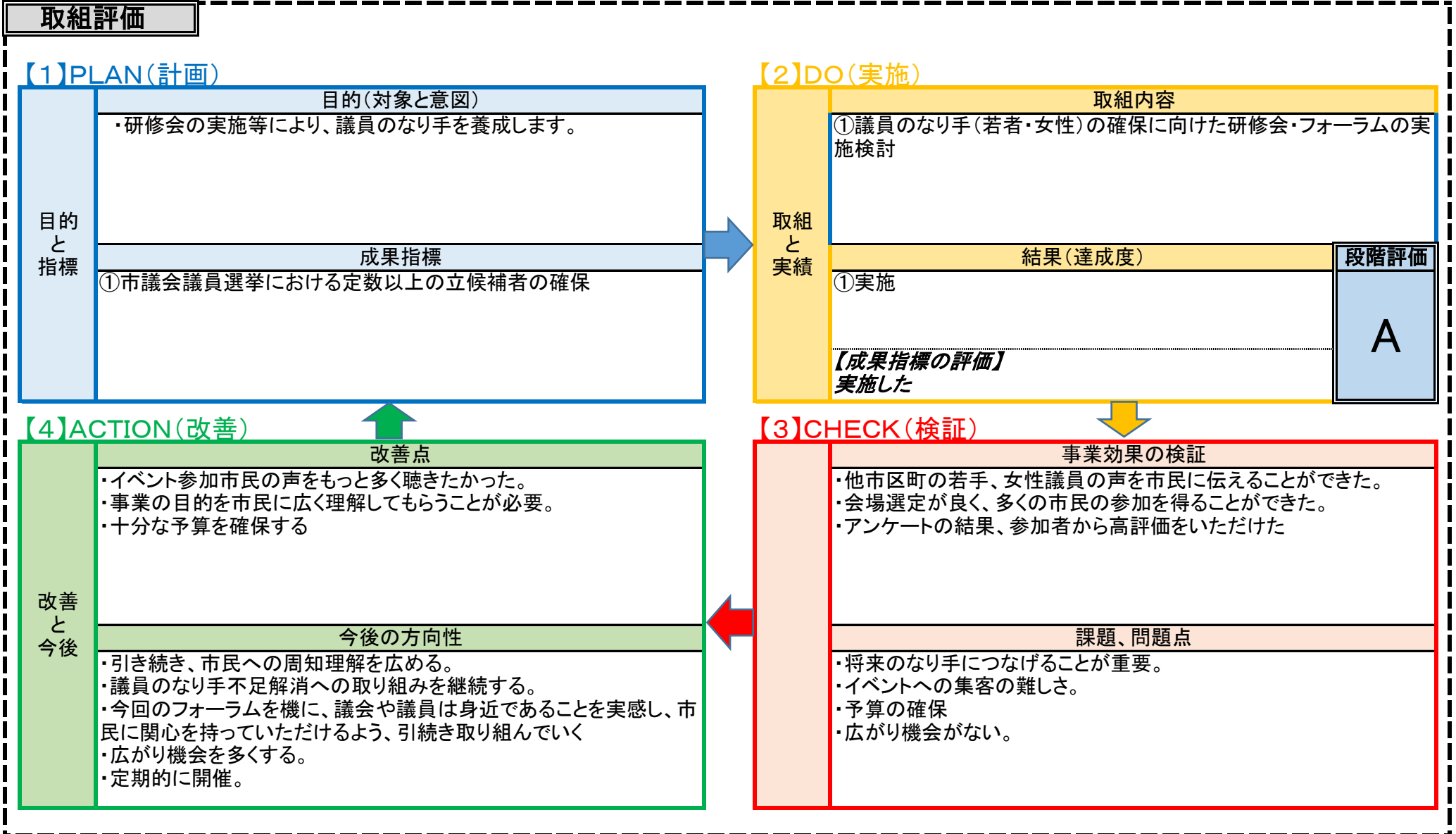
### 【3】CHECK(検証)

事業効果の検証	課題、問題点	・より多くの市民に体験してもらう。
	改善点	
	今後の方向性	・継続して実施。

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(議員定数) 第20条 議員定数の改正に当たっては、行財政改革の視点だけではなく、市政の現状と課題、将来の予測と展望を考慮するものとする。
----	--

計画項目	【取組No.11】 議員のなり手確保に向けた取組
------	--------------------------



# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(議会の活動原則) 第3条 議会は、次に掲げる原則に基づき活動を行わなければならない。 (2) 政策の決定を行うとともに、市の事務執行について監視及び評価を行うこと。
----	---

計画項目	【取組No.12】 議会選出監査委員のあり方の検討
------	---------------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)
	・議会選出監査委員の必要性やあり方を検討し、必要な見直しを行います。
	成果指標
	①監査制度や決算審議の充実強化による適正な市政執行の確保

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	段階評価
	①議会選出監査委員の義務付けを緩和する法改正の趣旨を踏まえ、議会選出監査委員の必要性についてあらためて検討 ②議会選出監査委員を存続する場合には、決算審査に先立っての研修の実施などその知見を議会審議に活用する方策について検討	
	結果(達成度)	
	①未実施 ②実施	B
	【成果指標の評価】 一部着手	

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点
	・議選監査委員から議員への報告を検討し、決算審査の充実を図る。 ・議選監査委員の必要性を研究検討していく
	今後の方向性
	・議選監査委員の月齢報告の方法を検討する。 ・研修等を実施して、議論を深め、議選監査委員の役割を確立する

### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証
	・①に関し、今後実施スケジュールを検討する。 ・実施したが、知見の検証に至っていない。 ・②代表監査員を講師に迎え研修を実施した。 ・監査委員制度の理解が出来た。 ・①必要性について改めて検討が必要。
	課題、問題点
	・①議選監査委員の必要性の裏付け ・②議選監査委員の守秘義務の範囲の明確化 ・決算審査に先立っての議選監査委員の役割の明確化

# ■PDCAサイクルシート【令和4(2022)年度】

条文	(議会事務局) 第15条 議長は、議会の政策形成及び立案能力の向上を図り、議会活動を円滑かつ効率的に行うため、議会事務局の調査機能及び法務機能の充実強化並びに組織体制の整備を図るものとする。
----	--

計画項目	【取組No.13】 大学等とのパートナーシップの連携推進
------	------------------------------

## 取組評価

### 【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学その他の外部機関との連携を促進し、議会外部の知見を活用します。</li> </ul>
	成果指標
	①大学生など議会外部からの客観的意見を踏まえた議会運営の実現

### 【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	段階評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①議会及び各種委員会等における意見交換</li> <li>②政策立案、提言等に関わる助言や意見交換</li> <li>③大学生との意見交換を含めた相互交流機会の創出</li> </ul>	
	結果(達成度)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①未実施</li> <li>②未実施</li> <li>③未実施</li> </ul>	D
	【成果指標の評価】 達成できていない。	

### 【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点
	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互の情報共有の場を創出する。</li> <li>市の課題の洗い出しと政策立案に努める</li> </ul>
	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き取り組む。</li> <li>政策形成、提言に大学との協定を生かしていけるよう議会力向上に努める。</li> <li>学生との交流機会を必要に応じて徐々に増やす。</li> </ul>

### 【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証
	<ul style="list-style-type: none"> <li>共和大学と連携協定を締結した</li> </ul>
	課題、問題点
	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定を結んだが、まだ活用していない</li> <li>コロナ禍のため学生との交流が難しい。</li> </ul>